

1. 件名：「玄海原子力発電所の発電用原子炉設置変更許可申請（高燃焼度燃料導入等）に関する面談【5】」
2. 日時：令和5年9月11日（月） 16時50分～17時40分
3. 場所：原子力規制庁 9階A会議室
4. 出席者（※・・・TV会議システムによる出席）  
原子力規制庁：  
（新基準適合性審査チーム）  
奥安全規制調整官、中川上席安全審査官、鈴木主任安全審査官  
  
九州電力株式会社：  
原子力発電本部 原子力技術部長 他9名（うち3名※）
5. 自動文字起こし結果  
別紙のとおり  
※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
6. その他  
提出資料：原子炉設置変更許可申請に係る審査の進め方案について

以上

時間	自動文字起こし結果
0:00:01	原子炉規制庁鈴木です。本日は玄海原子力発電所の
0:00:06	高燃焼度燃料導入棟設置変更のスケジュール面談を行います。
0:00:15	九州電力からは、当資料を
0:00:20	事前に提出していただけてますけれども、
0:00:24	ちょっとぱっと見しか見てない
0:00:31	していた。
0:00:36	それではお忙しいところお時間とっていた
0:00:39	九州電力の本田でございます。
0:00:42	今回は弊社の
0:00:45	聞いて、
0:00:54	イクノタケツグでございますでは、資料のほうをご説明させていただきます。
0:00:58	資料につきましてはA4のMの1枚とA3もの1枚をご準備しておりますD4者の方で概要を説明させていただきます。
0:01:07	前回9月4日のスケジュール面談において、当社が効率的と考えるスケジュール案をご提案することとしておりましたので、
0:01:15	ご説明させていただきます。
0:01:17	まず最初の丸の1ポツ目なんですけども当社としては現状の審査スケジュールでは厳しいという。
0:01:26	ご意向を伺いましてそれでもずっと許可の方は年度内にいただきたいというところが希望としてございます。
0:01:34	で、前回の面談時に申請上部の選別と技術的審査
0:01:41	段階にというお話をいただいておりますが、申請、
0:01:46	上部の選別後に技術的審査に移るといった段階を踏んだ場合、実施回数、ヒアリングに実施回数の制約がありますので、ヒアリング及び審査会合の回数が増えるというところをそういう審査が長期化するところを懸念しております。
0:02:01	またさらに申請条文の選別を行うためには、技術的審査
0:02:06	もある程度必要というところは共通認識かと思っておりますので、
0:02:10	当間同斜からすでに提出している審査資料即説明資料を活用して、両者を並行して実施することで、審査スケジュールを効率化できると考えてございます。
0:02:20	具体的な審査の進め方についてなんですけれども、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:24	前回面談でご提案いただいた通り、技術的内容でテーマを分けをしまして、テーマごとにヒアリングを最大2回実施して、審査会合につきましてはその複数テーマの案件をあわせて実施。
0:02:36	いただきたいと思います。
0:02:39	当天馬ヒアリングの
0:02:41	ヒアリング及び審査会合の流れについては表1の通りまとめているんですけども、まず1回目のヒアリングで、NRA殿から、技術的内容及び申請条文の選別に関する質疑、
0:02:56	質疑を
0:02:57	して、担当者の方から回答すると。
0:02:59	2回目のヒアリングの方で1回目のヒライに対する、確認事項に対する回答というところと、それに対する質疑を行うと。
0:03:07	審査会合のところでヒアリング内容を踏まえた技術的内容に関するご説明をしまして、70度の方から技術的内容に関する指摘と、
0:03:17	申請条文の選別に関するご出席をいただきまして、
0:03:22	以降は審査会合の結果に応じて再度ヒアリング及び審査会合を実施していくといったスケジュールになるかと思えます。
0:03:31	テーマ分けについては、
0:03:33	面談にてご提案いただきましたがその内容を参考としまして、表2の通り当社の方で再編させていただいております。
0:03:42	表につきましては
0:03:47	燃料炉心関連として①燃料機械設計と、②で炉心核設計動特性で③で炉心の熱設計と、
0:03:55	あとはSFPの冷却性、
0:03:58	16条の冷却性というところで設定しております。あと、被ばく。
0:04:04	そして④平常時被ばく事故時被ばく市町関係と、
0:04:07	あと安全設計性有効性評価関連で⑤運転時の異常な過渡変化、⑥で設計基準事項及び是正有効性評価ということで、①から⑥のテーマ分け、
0:04:24	これらのテーマ分けにおける、審査のスケジュール案ニイツ具体的な審査のスケジュール案については、別紙の通り、
0:04:34	まず作成させていただいております。
0:04:38	一番左側に、各条文及びその条文の中でご説明、ご説明させていただきたい事項申請条文ですね。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:47	を並べておりましたその次のテーマ分けというところで、今テーマ①から⑥について、振り分けております。
0:04:56	各テーマに関して丸をつけてるところが1回目のヒアリング参画については、2回目のヒアリングで、
0:05:03	資格については審査会合になりまして、
0:05:08	各テーマごとにヒアリング1回2回、審査会合というところで並べておりますけども、審査会合については、まとめられる分についてはまとめて実施いただきたいと考えております。
0:05:19	基本的に最初の方に、原発関連でそのあとに被ばく安全評価と続くようなスケジュールになっておりました、
0:05:28	ある程度ラップさせて実施し、
0:05:33	てるんですけども、最終的には、このスケジュールですと、1月、
0:05:39	1月中に技術的審査を完了できると。
0:05:42	その後に添付書類の、
0:05:47	4511 すいませんこれ、添付書類3とかイトウ、
0:05:51	サノ業務添付書類3とありますけど、3については今回出しておりませんので、添付書類の4号11になりますけど、その審査ヒアリングを実施して、
0:05:59	最後に補正申請というところで、
0:06:03	このスケジュールですと当社が希望する年度内の許可というスケジュールになるのかなと。
0:06:08	考えているところでございます。
0:06:11	はい。
0:06:14	ますけど4資料の三つ目の丸になりますけれども、前回補正申請については、
0:06:23	技術的審査の前という話があったかと思いますが、汚染申請については当社の方で審査の終盤にある程度申請書の記載内容が整った後に、1回実施することとしたいと。
0:06:35	考えております。
0:06:37	資料のご説明については以上となります。
0:06:43	原子炉規制庁、
0:06:48	として懸念してる。
0:06:49	店舗。
0:06:55	三つ目。
0:06:57	の、補正申請は審査終盤にまとめてというところについてはこれは、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:07:04	額面通りには受け取ったの。
0:07:06	出ません。
0:07:08	なぜなら、
0:07:09	申請されてない内容を審査することはないですし、
0:07:13	申請
0:07:14	内容を舗装
0:07:28	きては、申請されている内容、それに、
0:07:32	続いた。
0:07:42	内容について、
0:07:43	技術的な審査を、
0:07:46	やるというところに、
0:08:11	正直、
0:08:13	ピアまる 1 ここに申請条文の選別っていうところが入ると思いますけれども、
0:08:20	その辺、
0:08:22	法的
0:08:24	諸説明。
0:08:26	ない方ですね。
0:08:28	申請書記載に関する、
0:08:31	よう、
0:08:42	ゴトウする。
0:08:57	どこまでやってヒアリングをやるか我々の判断になる
0:09:04	まで含めて、
0:09:05	一気にヒアリングをやって欲しいということであれば、相当の準備を重ねた上でヒアリング、
0:09:10	ヒアリング
0:09:12	は我々、
0:09:16	次に、その状態
0:09:20	申請条文の選別についても質疑がある。
0:09:23	申請書の記載についても質疑がある。深津。
0:09:29	内容。
0:09:30	内容まで檜山 01 でやったと。
0:09:47	その内容を読み込む時間も無駄になるか。
0:09:52	そこまで本当に、
0:09:55	やりたいということであれば我々もその希望に沿ってやって、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:10:02	我々の準備、
0:10:04	のリード
0:10:09	そのためにこの別紙、
0:10:12	のようなイメージにはならない。
0:10:15	で、申請、
0:10:18	常務、
0:10:19	条文の担当者を我々割り振りますけれども、
0:10:27	申し上げたような 6 分野、
0:10:30	2 担当割りつけます。
0:10:33	を表 2 で書いてあるような、分野に集約することは全然問題ないと。
0:10:49	その 2 人で同じことをやる。
0:10:52	それぞれパラで自分が担当するところをやっていくこと。
0:10:58	そうす。
0:10:59	審査
0:11:00	の
0:11:01	読み込み、もしくは申請条文の多い少ないに
0:11:06	多分、
0:11:07	土肥有井
0:11:08	いつ、
0:11:12	そういうふうに使っていた
0:11:13	方が、
0:11:15	我々としてはヒア①をなるべく後戻しないように、
0:11:20	技術的内容のところまで、
0:11:24	見込んだ。
0:11:25	準備までやるということについては、あまり、
0:11:30	効率、
0:11:42	これだけね。
0:11:48	別紙で、
0:11:50	説明する時期を、
0:11:52	挙げておられますけど、
0:11:55	地域性基準のときにはこういうふう
0:11:58	いや、
0:12:07	ヒアリングは
0:12:09	放射能。
0:12:10	求めに応じて、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発音者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:12:14	我々が提出された書類整った書類、事業者が整えたと言っている書類に基づいて、書類確認をして、
0:12:23	必要に応じて事実確認をするために、
0:12:26	審査官が求める
0:12:30	リングで求めてきてくれ
0:12:41	せ、
0:12:44	求めるということになる
0:12:50	何か
0:12:57	規制庁中ですけど、
0:12:59	あと追加で今日の
0:13:03	資料、
0:13:05	を見ると、
0:13:06	表 2 ということで技術的内容の提案分けということで、これ。
0:13:11	大きくは三つと分けてますけど、
0:13:15	うちは、
0:13:18	6 分野ぐらいかなということで、少しお話をさせていただいたところで少し差が、
0:13:26	基本的な数、
0:13:30	結局
0:13:32	ヒアリングの 2 回やってですね、そうすると会合になるわけですね。
0:13:38	で、
0:13:39	それは 3 部矢田だけにまとめると結局それだけで、
0:13:46	なんて、
0:13:49	3 分野だから、だから、
0:13:52	2 回 2 回
0:13:59	で、
0:13:59	そこがうまくまとめればそういうやり方もあるのかもしれないんですけど、何かこう分野を縮めたことですね、ヒアリングの回数が結局減るわけなんですけれど、
0:14:12	それで大丈夫ですかねっていう、少しそういう感想はあってですね、それはそれで進め方は別に自由ですけど、
0:14:21	結局今までの会合のそのやり方を見ても、何となく
0:14:28	ヒアリングは十分
0:14:30	事実関係確認がならないまま会合に突入して、
0:14:35	いや実はヒアリングヤマダなんかその、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:14:38	確認中ではあるんですけどとりあえずの案でみたいな感じで会合をかけて、何となく中途半端
0:14:46	すぐにまた会合に突入してみたら結構、
0:14:49	繰り返しが多かったような気がしていて、もう少し細分化してですね
0:14:55	もう少し細かいそれぞれについて2回ぐらいヒアリングをして
0:15:02	会合という方が、
0:15:05	もう、
0:15:06	補ヒアリングの回数もそれぞれきめ細かく2回ずつできて、
0:15:12	ある程度会合もそれなりに
0:15:16	それぞれ確認した内容を、ある程度進捗したものが出せるようになるのかなという気はするんですけど。
0:15:25	ちょっとご提案のsomeやというところが効率的かどうかというのはちょっとそういう懸念も踏まえてですね少し、
0:15:32	ご検討いただいてもいいのかなという。
0:15:35	感じがしました。
0:15:42	うん。
0:16:00	さらなる移行とか、
0:16:03	ありましたら、お願いし
0:16:07	九州電力のタケツグでございます。仲川さんのご指摘コメントに関するウノ2を先にご回答させていただきますと資料の方が分類で三つに分かれているように見えるんですけども、
0:16:19	分類をさらにテーマ、
0:16:22	表2の右側ですね、テーマ分けの方をしております、
0:16:25	②、①から②③⑥までですね。
0:16:29	このテーマごとにヒアリングの方実施いただきたいと考えているところでございまして、
0:16:35	もともとの前回面談での6、6、六つのテーマから顛末に関しては変わらない。
0:16:42	同等のものでちょっとかこちら考えているところでございます。中身について分類の分け方については、こちらでちょっと
0:16:50	再編させていただきましたけども、アノ分量、
0:16:54	量的にはもう変わらないものとなっているのかなと考えているところで、
0:17:00	規制庁ナカセそうするとだから、①から⑥それぞれについて2回ヒアリングをやって、
0:17:11	はい、その通りです。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:17:12	ちょっと懸念なのはですね、その条文がこの条文だけなのかっていうのが、
0:17:19	実際適用条文のところでもいろいろあったと思うんですけど、
0:17:24	多分これだけではないのかなという気はしていますね、そういう条文がその
0:17:29	新たにやりながら消えますという話なのかもしれないんでしょうけれど、そういう枠が多分今なくてですね。
0:17:37	多分、
0:17:38	うちとしてはそういうものがある程度何ですかね
0:17:43	DB全般というか、再
0:17:46	オノ、
0:17:47	イトウ、
0:17:50	防護設計とかそういうところの分野みたいななんか、個別にあるのかなあという気はしていますね、
0:17:56	そういうものが、途中途中で付け加えるとそこの話から始まると多分ヒアリングで2回なんか、
0:18:04	この枠でついでにMIMASなんていうことができるのかなあというちょっと懸念があったと。
0:18:10	ところです。
0:18:13	1、これ多分主な条文として15条25条、27条と、
0:18:18	37条とまあ、こここういうところだけを出してやるってことなんでしょけど、この多分、
0:18:25	他の条文はなんかないからそれどうすんですかとかっていう
0:18:30	そういうものもあれば何か、
0:18:32	事実確認しますとかいう等、それ、
0:18:36	またそれぞれはそれぞれちょっと出て、やる必要がありますよねという割には枠がないので、
0:18:43	何かそうする等、
0:18:46	ちょっとこれだけで十分なのかなという。
0:18:50	感じがします。これも感想なんですけど、
0:18:54	ちょっとやってみるとわからないところありますけど、
0:18:57	なんかそういうところもあってなるべく網羅的にそのす。
0:19:00	抽出し、条文を抽出した上でそこをきめ細かくやるのかなという気がしていたんですけどもちょっとそういう懸念だけお伝えして、
0:19:16	15条25条に係る

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:19:21	ところが、
0:19:22	⑤⑥の13条の反応度時、過渡事故、
0:19:27	分けて議論できるとは到底思えなくて、
0:19:31	また、③の炉心の熱水理機、15条っていうと、
0:19:38	⑤の
0:19:40	南條の
0:19:48	話してるうちに、
0:19:50	②のことをやってるのに、56の話も出てくると、もうそれで1回カウントになりますので、
0:19:56	そういったことも、
0:19:59	懸念はされると。
0:20:08	資料用意してない。
0:20:26	いうのをなるべく避ける。
0:20:38	条文で、
0:20:39	分けるっていうところは結構、
0:20:44	危険な香りが、
0:20:46	するなんてのは私の印象。
0:20:48	を含め、
0:20:54	はい。
0:20:56	恩田でございます。
0:20:59	最初にございました補正が1回という話も、
0:21:11	今ございました話におきましては、
0:21:15	そこら辺の基本的な設計が、
0:21:21	糸賀麻花
0:21:32	これを、従前の、
0:21:35	審査を、
0:21:41	流れとしては、
0:21:45	ユフ
0:21:48	よりは、
0:21:59	していた。
0:22:27	一つ、
0:22:31	内容も、
0:22:34	本当我々に投げていた。
0:22:36	ヒアリング回答
0:22:40	Cが、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:22:41	ないね。
0:22:44	達が見えていく。
0:22:53	求職成長するんです補正の話は先ほど言ったように、
0:22:58	私が進め、
0:23:02	生後でやるしかないというところ、
0:23:05	あと、
0:23:10	話はその状況を見て、
0:23:12	いいと。
0:23:15	先ほど
0:23:18	感じのイメージ。
0:23:20	坂新美。
0:23:25	はい。
0:23:26	しますけど、
0:23:29	なかなかですね、
0:23:31	本文 15 の話にしても、
0:23:35	添付
0:23:36	読んでいた。
0:23:39	もし、
0:23:40	はい。
0:23:43	影響緩和。
0:23:44	という設備との兼ね合いで条件設定したり、
0:23:49	話を受け
0:23:51	しない。
0:23:52	あれしない。
0:23:55	その条件、どうして決めたのっていう。
0:24:00	それは、本分休業研究だって同じで、
0:24:11	メイン
0:24:12	としているの。
0:24:18	評価だ。
0:24:24	それ切り離して、
0:24:27	評価後にやりますみたいな
0:24:30	多分なかなか難しい。
0:24:33	とかやる、やる分には、
0:24:35	そう切り分けてやりましょう。
0:24:41	正直言って、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発音者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:24:43	原子力規制委員会ができ、
0:24:53	その内容を知ってる人、
0:24:56	の人に
0:25:05	初めて
0:25:22	の123っていう
0:25:28	事。
0:25:32	ミウラの話。
0:25:38	伊井の感覚から
0:25:41	知らない人がやったら、
0:25:45	全く知らない素人やるわけじゃない。
0:25:48	ヨシナガラしくやってかなきゃ
0:25:55	②をやってるのに、
0:25:56	⑤とか⑥なんか、
0:26:04	なんていう
0:26:05	わけね。
0:26:10	それでもとりあえずやってみましょうっていうふうには別に
0:26:28	逸散先にやります。
0:26:30	足をやろうと思う。
0:26:38	456
0:26:51	あとのところ、
0:26:54	てこと。
0:27:05	すいません急性のホンダでございます私の言い方があれだったのかも しれません。確か
0:27:16	回れへん。
0:27:20	ちょうど
0:27:22	インベ
0:27:25	その前
0:27:26	変形
0:27:28	性、
0:27:38	燃料が、
0:27:44	岩城奥野から、
0:28:11	金城規制庁スズキです説明された内容の資料ではないんですよね。
0:28:18	例えば
0:28:22	主クドウ上げた。
0:28:34	もう、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:28:37	企業が変わって、
0:28:41	な変更内容をかけるか。
0:28:51	意味合いも
0:28:52	申請情報の選別
0:28:55	条文整理表の一番右側のところ、それ。
0:29:02	整理状況。
0:29:05	それがもれなくなでき、
0:29:10	余計に入っていないとか、
0:29:12	そういった話を、申請書の記載を見ながら、
0:29:17	足りる足りない。
0:29:19	話をしっかり。
0:29:22	整理していきたいというのが我々の
0:29:27	そこが
0:29:28	整理できたら、多分、技術的内容を何見ればよいよね、どこを見ればい い、どこがポイント
0:29:40	ん中にまだ入る。
0:29:46	中
0:29:51	やってみ
0:29:53	修正
0:30:04	アノ。
0:30:20	規制庁がよろしいですか。九州電力わかんない。
0:30:26	九州電力のタゾエです。
0:30:29	ちょっと進め方で1点ちょっと確認させていただきたいんですけども、 まず
0:30:37	資料を読み込まれるんでしょちょっと時間がされるということで、実際、 審査いただくにあたってですね、事前にコメントを一覧表みたいなのを いただいてですね。
0:30:48	それを事前に読ませていただいて、どういう分類するかも含めて、確認 させていただいて、それでそれを整理していくというようなやり方ができ れば、もっと効率、
0:30:59	くう的な審査ができるんじゃない。
0:31:03	その点いかがでしょうか。
0:31:06	お渡しするのも、
0:31:08	ヒアリングしかないと思って、
0:31:11	いや、大田すると。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:31:14	書類審査もヒアリングになりますので、
0:31:20	なされ、
0:31:23	書類のやりとりで審査するのも、
0:31:26	かくかく、
0:31:31	ヒアリング事故、
0:31:34	当日、すいません九州電力のタゾエですけれども当日しかお渡し。
0:31:38	いただける。
0:31:40	当日、
0:31:41	実際、我々が来たときに、質問事項がわかって、それについて回答していくというような進め方になるという認識です。
0:31:51	対面。
0:31:53	何も関係なく或いは
0:31:55	それぞれやらずに、書類の交換をしますっていうのも、
0:32:00	ヒアリングの内容として公開しますので、
0:32:04	メールでも別に構わないですね、メールでやりとりするのも1、
0:32:10	ということ。
0:32:14	進め方と、
0:32:15	しては、今、江藤スズエさんおっしゃった通り、規制庁さんで疑問に思われたことを我々に確認していくっていうような進め方をされるという認識なんですけれども、それは実際ヒアリング、もしくは、事前に書面で、
0:32:29	出されてそれはもう1回目ですよ。
0:32:32	というようなイメージになるということで、
0:32:35	規制庁スズキそれが原則です。
0:32:38	ヒアリングをやるにあたって、数日前ぐらいに、お互いの資料を事前にやりと。
0:32:47	ましようよ。
0:32:48	ではある。
0:32:51	Aを渡したのをカウントしませんっていうのはない。
0:32:59	了解しました。あと進め方のところでですねやはり会合に向けて、おそらくヒアリングをしていく、ヒアリングなり審査していただくというイメージになると思うんですけれども、
0:33:14	確認事項を我々にいただいて、
0:33:17	それで1回、
0:33:20	当日なり、
0:33:22	回答させていただいてもう1回、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:33:25	質問事項があつてつていうと、基本的にその論点が介護に向けた論点をどういうふう整理していくのかっていうところが、ちょっと時間的に厳しいところもあるんじゃないかなと。
0:33:40	そういったところをどういうふう整理していくか、何かお考えありますでしょうか。
0:33:44	市長都築です。
0:33:46	まず、
0:33:48	九州電力の資料でいうと表1の日は①で出てくる質疑ですね。
0:33:53	この中で、出た内容に対して、いや②で回答が出てきたときに、我々と意見が食い違う、もしくは、
0:34:04	そういうふうな、
0:34:06	回答では納得できない。
0:34:09	自体がもう、
0:34:10	論点、
0:34:12	審査
0:34:16	そうなりますとやはり
0:34:18	コメントの出され方っていうかヒアリングでご質問される内容というのはもう、ざっくばらんざっくばらんという五月雨的じゃないけどいろんな分野からいろんな質問が来るわけじゃなくて、
0:34:29	ある程度整理された形でこちらにいただけるっていう認識でよろしいでしょうか。
0:34:34	ダイゴ
0:34:36	全部やまとめて1回やんなくてもいいよ。
0:34:41	部屋ごとに分けて、
0:34:45	根井晋
0:34:53	並行し、
0:34:56	極端な話する。
0:34:59	この0。
0:35:01	テーマ①から⑥について
0:35:05	2週間に1回ずつ審査会合やって、
0:35:09	石坂大浦で、それぞれのヒアリングやってきますっていうのを延々と。
0:35:14	でも別に
0:35:20	先ほど言ったように、②と、
0:35:23	⑤と⑥は、
0:35:25	審査会合を一緒にやりましょう。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:35:29	日、
0:35:30	麻生磯それはその時の状況で審査会合の論点幾つ
0:35:36	審査会合にかけらかっていうのはそのときに、
0:35:39	決めればいいだけ
0:35:41	で準備ができてなければ、次回にしましょう。
0:35:48	評価式、九州電力のタゾエですけれども、
0:35:51	ちょっともう一つ、我々懸念しません、自分が個人的に懸念してるところなんです。
0:36:00	いろいろなテーマがあってそれに、
0:36:03	逐次回答していくと、これについてはもう1回ですねこれについては1回ですねこれについては1回ですねってやられていって、
0:36:11	結局こう、
0:36:14	前、
0:36:15	そのテーマっていうかね、6分類に関してすべてその質問が飛んでしまっただけでもう1個、1回になっちゃいましたっていうようなこともあり得るんじゃないでしょうか。
0:36:25	それをやらないために、
0:36:28	分野別に分けてやった方がいいんじゃないか。
0:36:31	我々の意見
0:36:35	する条文を多分
0:36:39	技術的に
0:36:42	条文、
0:36:45	の条文の中でも、項5で、いやここは実は、
0:36:48	通常運転時のこと言ってここはカットの子
0:36:53	のがはい。
0:36:56	例えば、
0:36:57	25条、戦争。
0:37:01	ん。
0:37:01	15条関係の
0:37:04	そういうがあるので、いや、
0:37:06	15条やりましょ
0:37:09	や①から、
0:37:11	③、場合によっては午後6万。
0:37:30	九州電力タゾエですけれども、今、
0:37:35	おっしゃられたのはやっぱり条文ごとで整理した上で

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:37:41	OAタテなりヒアリングを受けた方がカウントの仕方、どうカウントするか ってところの議論もあるかもしれないですけども、今、藤さんが考 えられてるのは、イメージ様条文ごとの
0:37:54	テーマで、いや、やると、宇和そのカウントが。
0:37:59	それぞれに分かれてくるわかれずに、綺麗に整理だけされるというよう な認識では逆です条文ごとではなくって条文を
0:38:09	ばらして、
0:38:10	技術分野ごとに束ね直す。
0:38:13	した。
0:38:14	ひとまとめにして、
0:38:16	ヒアリングをやると。
0:38:18	その外に、
0:38:19	議論が及ぶ可能性がかなり低くなるので、
0:38:23	その束ねた最小単位で、
0:38:26	分野を分けて、
0:38:29	それぞれの分野でしっかりヒアリングができるんじゃない。
0:38:36	九州電力田上です。
0:38:38	了解しました。おっしゃる。
0:38:43	規制庁
0:38:44	私は、実際に
0:38:47	詳細の内容をこれまでの燃料変更の話を、
0:38:53	理解してる人が話をすれば、
0:38:57	そういうふうにとできると。
0:39:02	九州電力を置いたとしても規制庁。
0:39:06	全員が、
0:39:16	足を踏み外さないような状況づくりを、
0:39:20	わかって
0:39:25	いいか。
0:39:29	そこがお互いの共通認識が、
0:39:32	まだできてない。
0:39:39	言えなカウント。
0:39:41	出ちゃう。
0:39:47	比嘉。
0:40:04	一緒にやる。
0:40:06	ということがいい。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:40:14	九州電力の風間でございます。ご説明ありがとうございます。あと、当社の方針に対してですね、ご理解いただいております。
0:40:22	ただ、理解はするものの、規制庁動として懸念があるという点は、当社に伝えていただいて、
0:40:32	まずは、当社がやりたいと。
0:40:36	てる方法で進めておいて、
0:40:39	途中でケースバイケース受状況を見ながらですね、
0:40:43	これは、
0:40:44	進め方として修正が必要だと。
0:40:46	いのご判断をいただいたときに、またやり方を、一緒に認識を合わせながらやっていくというふうに理解をしました。
0:40:55	2点目はテーマ分けにつきましては、おっしゃられたように例えば、
0:41:01	同じ15条の中でも、当然通常運転時と異常な過渡まで、要求してる事項ありますよねと。
0:41:07	そうだったら13条も絡んできますよねっていうのは確かにおっしゃる通りかなと思っております。
0:41:12	そのやり方につきましても、進めながらですね、例えば、
0:41:17	機械設計で15条を説明してる中で、これを運転時の異常な過渡変化時の事象としてどうとらえるのかっていう話をする場合は、
0:41:26	その場合は⑤番としてカウント1回とかですね。
0:41:30	そのやり方はいろいろあると思いますので、そこも一旦、当社の進め方をして、進めさせていただいて、その中で調整、またさせていただければなと思っております。以上でございます。
0:41:48	原子炉規制庁鈴木ですありがとうございました。ここまでの内容含めて他に。
0:41:55	何か。
0:41:57	九州電力のタケツグです。衛藤。
0:42:02	当社の提案するやり方で一旦進めさせていただけると、理解しておりますはいありがとうございます。
0:42:11	その場合当社の方では、今のスケジュールでは、表2の①の燃料機械設計の方から始めさせていただきたいと考えているところになります
0:42:22	が、先ほど冒頭、冒頭の最初の方でおっしゃられた通り、ある程度リードタイムが、
0:42:29	必要と。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:42:30	いうところかと思いますが、
0:42:33	今のスケジュール、今の資料では機械設計、
0:42:37	10月9日、
0:42:40	めどに実施いただけたらと考えてるところにはなるんですけども、今の段階で今の、
0:42:48	そのリードタイムといいますかいつごろになるとか、イメージとあるありますでしょうか。
0:42:55	城規制庁スズキです現状イメージなくてですね、とにかく9月中に、
0:43:01	処分する。
0:43:04	できるものは、
0:43:05	諭す、
0:43:10	担当者も専任ではないので、
0:43:13	他の
0:43:14	案件、他の事業者の申請、
0:43:17	を受けながら、
0:43:19	やりますので、その状況その状況で、
0:43:22	変わりますので、いつ始められますかっていうところはわかりません。
0:43:30	だから、
0:43:32	頻繁にはではない、ないですけど、定期的
0:43:36	ないでしょうかみたいなスケジュール。
0:43:39	その都度、
0:43:40	丁寧にやって、
0:43:42	これいつ頃だった。
0:43:48	そこは柔軟に
0:43:59	九州電力中澤でございます。ご説明ありがとうございます。
0:44:03	今ご提案いただいたようにですね、状況の確認をお互いする意味です。面談をやっていただくっていうのは当社としても大変ありがたいことだと思っておりますので、
0:44:16	ぜひよろしくお願ひしたいと思っております。以上でござ
0:44:23	中規制庁杉他よろしいですか。
0:44:27	何かもう1点、
0:44:30	補正になりますけれどもこちらについては現状の記載、申請書記載で審査できるところから進めていただけるということを、
0:44:39	しましたけれども、
0:44:41	今の、どの、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:44:44	どの箇所で申請書記載が足りて書き足りてない。
0:44:48	そういった、
0:44:49	ところの話はどのようなタイミングでいただけるのかと思ひまして、今そういったところが判明してる部分があれば、
0:45:00	なんすかね。
0:45:02	いただけたらこちらとしても
0:45:10	前広にといいます。はい。
0:45:12	はい。この説明が早くできるのかなと、考えるところなんですけれども。
0:45:16	審査を、技術審査をそれぞれ進めていく上でその分野ごとに、
0:45:22	関連するところをご指摘いただけるのか、どのような進め方になるのかなというところがあれば教えていただきたいです。
0:45:31	議長。
0:45:32	こういう、
0:45:33	図表 1 や①の申請書記載に関する質疑。
0:45:39	コガ。
0:45:40	しょっぱなになると、
0:45:42	で、
0:45:43	技術的内容をしっかり、
0:45:46	どんな
0:45:47	設計しているかどんな評価しているかみたいなどころまで、
0:45:53	申請書本文、
0:45:55	限ってる
0:45:59	判断するところに、
0:46:01	至らないなんてことはない。
0:46:04	テンパチー生の、
0:46:07	基準適合の
0:46:09	考え方も説明ありますよね。
0:46:11	あそこに出てくる。
0:46:13	キーワードとか、
0:46:15	テクニック
0:46:18	機能の説明。
0:46:22	申請書本文、
0:46:24	書いてない
0:46:26	適合訴えないわけですよ。
0:46:29	それだけなんですよね。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
 発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:46:32	基本
0:46:35	先ほど言ったように檜山丸市にならないとわからないって言いましたけど、
0:46:39	もうこれは
0:46:42	1回目の審査会合から言ってますけど、
0:46:45	核的安定性軸方向、アキシャルオフセットの話は、
0:46:54	それはもう、
0:46:59	ありますかっていうと、現時点で、
0:47:01	読み込んでない。
0:47:06	ただ、
0:47:08	適合性の、
0:47:11	ない方、
0:47:30	ありませんかって話を。
0:47:35	そう。そういうふうな
0:47:36	をしていくの。
0:47:37	2、九州電力も、
0:47:54	九州電力のタケツグですありがとうございます。各技術的審査のところ でそれぞれ適したは、ところについてご指摘いただけると認識しました。
0:48:04	また申請書適合性の説明にソネ水性処分に記載しているものを記載し てないものについては当社としても、こういう考えで記載してます記載し てませんというものがありますので、
0:48:17	それぞれの審査技術的審査のところでご指摘いただいた後にご説明さ せていただけたらと思います。以上です。
0:48:30	申請情報の選別んところ
0:48:33	申請書の記載変更してるかしてないか、っていうような、
0:48:38	判定基準
0:48:42	されるようにしますっていうことを、前
0:48:49	で今
0:48:59	の仕様を、
0:49:01	こういうふうに変えるっていうことに
0:49:18	野瀬。
0:49:29	午後の廊下
0:49:32	安全設備はとか、
0:49:35	ウワーツ
0:49:43	一部な

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:49:46	確認しないと。
0:49:48	わからない。
0:49:49	そういった観点でいうと、
0:49:51	あれじゃあ、ここに書いてない、防護系って何で申請しないんですかっていうような議論
0:49:58	にもなりますし、
0:50:00	新しい燃料なのに、
0:50:02	設計方針を変えながら申請しない。
0:50:08	それは、
0:50:10	方針かもしれないけど、
0:50:12	燃料を変えるんで、
0:50:14	改めてそれは設計方針出してください。
0:50:18	審査を
0:50:24	変え
0:50:30	そういうことも
0:50:32	やら、
0:50:32	申請条文の整備、整理選別っていうところ。
0:50:36	からもやったり、
0:50:41	だから、今んところ、
0:50:43	そういうことではないものは、さっき言った適合性の考え方。
0:50:51	小野瀬
0:51:01	ということ。
0:51:05	衛藤九州電力のタケツグでございます。はい。ご説明ありがとうございます
0:51:11	説明が必要な条文、条文という説明が必要なところについてはこちらとしてもちょっと対応させていただきますので配布していただけたらと思います以上です。
0:51:24	本庁側でほぼ
0:51:26	よろしいです。
0:51:29	発電は
0:51:36	九州電力原子力発電本部ではありません。
0:51:39	以上です。
0:51:41	研修規制庁スズキです。ありがとうございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。